

社会貢献活動(インターンシップ)の実施報告

(一社) 札幌林業土木協会

活動内容

農業高校3年生を対象とした現地見学会を実施

- 1 実施年月日 : 令和元年8月2日(金)
- 2 実施場所 : 北海道沙流郡日高町国有林
会員企業が施工している治山工事現場
- 3 参加人数 : 岩見沢農業高等学校(生徒19名、教諭3名)
北海道森林管理局4名、日高北部森林管理署5名
- 4 活動内容 :

当協会では、北海道森林管理局と日高北部森林管理署のご協力をいただき、森林土木技術者の確保を目的に、岩見沢農業高等学校3年生を対象とした治山工事の現地見学会を開催しました。

平成28年台風災害で被災した沙流川本流の治山工事箇所では、現場代理人や監督職員から「豪雨によって流木が発生し、国道が被害を受けた。そのため、流木を補足するスリットを備えた治山ダム(延長109m)を施工している。これだけの規模の治山ダムは滅多にないので、完成が楽しみだ。」と説明を受けました。生徒から「働く人が5~6人では少ないのではないか。」と問われ、現場代理人から「工事内容などによって工事のやり方が異なる。この現場では、効率的作業ができるので少人数である。週休二日制も導入するなど、働く環境は改善している。」と回答しました。見学会の最後には、生徒代表から「普段見ることができない現場を見ることができ良い経験になった。この経験を進路選択に活かしたい。」との謝辞がありました。

この現地見学会は5年連続となりますが、当協会では、林業土木工事に対する理解を深め、若手職員の確保に資するためにも、今後ともインターンシップ活動に協力していく考えです。

活動写真



日高北部署萩原 裕署長による説明



日高北部署の担当者による事業説明



現場説明を受ける生徒たち



生徒代表による謝辞